

GREEN HOUSE

D V D プロジェクター

取扱説明書

GH-DVPJAシリーズ



はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管してください。

設置の手順

製品構成を確認します。

(1 ページ)



本取扱説明書に書かれている「安全上のご注意」、「使用上のお願い」、「ディスクについて」、「各部のなまえ」をよく読みます。

(3 ~ 25 ページ)



準備を行います。

(26 ~ 38 ページ)



本製品の電源をオンにします。

(29 ページ)

製品構成の確認

パッケージの中に下記のものが入っているかご確認ください。

- | | |
|-----------------------|-----|
| ●製品本体 | 1 台 |
| ●専用リモコン | 1 個 |
| ●単 4 形乾電池 (リモコンテスト用) | 2 個 |
| ●専用 AC アダプター (約150cm) | 1 個 |
| ●専用 AV ケーブル (約120cm) | 1 本 |
| ●レンズキャップ | 1 個 |
| ●三脚 | 1 個 |
| ●取扱説明書 (本書) | 1 部 |
| ●保証書 | 1 枚 |

●付属のリモコン用単 4 形乾電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

目次

はじめに	1
設置の手順	1
製品構成の確認	1
安全上のご注意	3
安全に正しくご使用いただくために	3
使用上のお願	12
未永くお使いいただくために	12
ディスクについて	15
使用できるディスク	15
ディスクに表示されているマークについて	17
リージョンコード (地域番号)	18
著作権について	18
ディスクの内容の区分	19
各部のなまえ	20
各部名称	20
準備	26
ディスクトレイカバーを開く	26
専用 AC アダプタを接続	27
リモコンを準備する	28
電源操作	29
動作モードを切り替える	30
接続方法	31
設置と調整	35
再生 (基本編)	39
ディスクを再生する (基本編)	39
再生 (応用編)	42
ディスクを再生する (応用編)	42
再生 (便利な再生機能編)	44
ディスクを再生する (便利な再生機能編)	44
外部メモリーを使用する	47
使用できる外部メモリー	47
外部メモリーを取り付ける	48
外部メモリー内のファイルを再生する	49
Bluetooth を使用する	53
Bluetooth の設定方法	53
DVD 設定	55
DVD 設定メニューの操作	55
プロジェクター設定	59
プロジェクター設定メニューの操作	59
トラブルシューティング	62
故障かな?と思ったら	62
その他	65
仕様	65
故障について	66


安全上のご注意


安全に正しくご使用いただくために


製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。

次の内容をよく理解してから本文をお読みにになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明

 **危険** この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。
なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示



禁止

この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示



注意

この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示



コンセントから
プラグを抜く

この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

危険 異常が発生した場合



コンセントから
プラグを抜く

煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、またはテクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

発熱したら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、またはテクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、またはテクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、異音がなくなったことをご確認の上、ご購入店、またはテクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、またはテクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、またはテクニカルサポートへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。



警告 使用について



禁止

AC アダプタは、必ず付属の専用品を使用してください。
火災や感電の危険があります。



禁止

AC アダプタは、水のかかる場所で使用しないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、またはテクニカルサポートへ
ご連絡ください。



禁止

業務用途としては使用しないでください。
長時間のご使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険がありますので、業
務用途でご使用の際は、事前に、弊社 (03-5421-2255) までご相談ください。



警告 電源について



AC100V以外
使用禁止

ACアダプタのプラグは、100ボルト交流電源(AC100V)コンセントにしっかり差し込んで使
用してください。
日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の
危険があります。



定期的
に
プラグを掃除

AC アダプタのプラグは、定期的に掃除を行ってください。
AC アダプタのプラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の
危険があります。定期的に AC アダプタのプラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取
り除いてください。



コンセントから
プラグを抜く

ACアダプタのプラグのお手入れは、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外して行っ
てください。
ACアダプタのプラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があり
ます。



警告 電源について



定格超過
禁止

コンセントや延長ケーブル、OA タップなどの定格を超えて使用しないでください。
タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。



コード傷つけ
禁止

ACアダプタのコードは、傷つけないでください。
ものをのせたり、引っばったり、ねじったりなど、無理に取り扱くとコードが傷つき、火災
や感電の危険があります。



破損コード
使用禁止

AC アダプタのコードに傷や裂け、割れ、ちぎれなど破損がある場合は、ご使用にならないで
ください。

破損した AC アダプタやシガーソケットアダプタから発熱や放電することにより、火災や感
電の危険があります。



落雷時は
触れない

落雷のおそれがある場合、AC アダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の危険があります。



濡れた手で
触れない

濡れた手で AC アダプタのプラグやコンセントに触れないでください。
感電の危険があります。



破損コンセント
使用禁止

破損したコンセントを使用しないでください。
コンセントに AC アダプタのプラグをしっかりと差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電
の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。



コード引っばり
禁止

ACアダプタのプラグをコンセントに抜き挿しする場合、プラグ部を持ってください。
ケーブルを引っばると、AC アダプタのプラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因とな
り、火災や感電の危険があります。



警告 設置について



不安定な場所に置かない

不安定な場所に置かないでください。
不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。
熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

湿度の高いところに置かないでください。
火災や感電の危険があります。



水濡れ
禁止

水のかかる場所に置かないでください。
雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。
ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。



禁止

吸気口をふさがないでください。
吸気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。
プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として10cm以上）空けてください。



禁止

天吊りなどの特別な工事が必要な設置については専門業者にご相談ください。
お客様による設置は絶対におやめください。
落下してけがの原因となります。



警告 使用について



分解や改造
禁止

分解や改造をしないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ際は、無理に取り扱わないでください。



禁止

子供だけで使用したり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。
感電やケガの危険があります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取扱説明書の内容にもとづいた指導監督を行ってください。
感電やケガの危険があります。



禁止

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。



禁止

破損や変形、補修したディスクは使用しないでください。
ディスクは製品内で高速に回転しますので、ケガをする危険があります。また、回転中のディスクには触れないでください。



禁止

リモコンによる操作は、リモコンをリモコン受光部に向けて行ってください。



禁止

目的外の使用はしないでください。
火災や感電の危険があります。



警告 使用について



禁止

プロジェクターのレンズを覗かないでください。
動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。



禁止

レンズは付属品のレンズカバー以外の物で塞がないでください。
動作中にレンズカバー以外の物でレンズを塞いだり光を遮ったりするとその物が高温になり破損や火災の原因となります。



禁止

動作中にレンズにふたをししないでください。
ふたの部分が高温になり変形するおそれがあります。



禁止

動作中にレンズの前に物を置かないでください。
物が高温になり、破損や火災の原因となります。



禁止

プロジェクターの吸気口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災や感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



警告 電池について



指定外の電池
使用禁止

指定の電池を使用してください。
指定外の電池や種類の違う電池、未使用の電池と使用済みの電池を組み合わせると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、プラス(+)、マイナス(-)の極性に注意してください。



電池を
取り外して

長時間使用しないときは、電池を取り外してください。
使用推奨期限を過ぎたり、使いきった電池を入れたままにすると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



禁止

電池を加熱したり、加圧したりしないでください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



禁止

電池を傷つけたり、分解したり、水や火の中に入れてください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。



禁止

電池を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、電池を取り出せないようにしてください。
誤飲や窒息の危険があります。



禁止

電池の液が皮膚や衣服に付着したら、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流してください。
皮膚障害の危険があります。



禁止

電池の液が目に入ったら、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流し、医師の診察をうけてください。
視力が損なわれたり、失明の危険があります。

注意 使用について



コンセントから
プラグを抜く

長期間使用しないときは、AC アダプタのプラグを抜いてください。
電源を切っただけでは常に微弱な電流が流れているため、故障した場合、火災の危険があります。



適度な音量で
使用する

適度な音量で使用してください。
音による周囲への影響に配慮し、適度な音量でご使用ください。



適度な音量で
使用する

イヤホンは、適度な音量で使用してください。
耳を刺激するような大音量で長時間連続ご使用になると、聴力が損なわれる可能性があります。また、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では、ご使用にならないでください。



ピックアップ
レンズを見ない

ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないでください。
レーザー光を見続けることにより、視力が損なわれる可能性があります。



禁止

外部メモリーを、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤飲や窒息の危険があります。



禁止

投写中や投写終了後は、排気口付近を触らないでください。
排気口付近が高温になる場合があります、やけどの原因になることがあります

使用上のお願い

未永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

- 製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
- 製品を移動する際は、ディスクや外部メモリーを取り出し、電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外してください。
- 電源を入れたまま、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外さないでください。
- 視聴の際は、投射画面から離れてご覧ください。
- 疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
- 映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
- 大音量で長時間連続で使用すると、聴力が損なわれる可能性がありますので、適度な音量で使用してください。
- 周囲の音が聞こえないと危険な状況下では使用しないでください。
- 耳に異常を感じる場合は、使用しないでください。
- 本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品：| ディスクドライブ | ACアダプタ | ビックアップユニット部 | LED ユニット | 排熱用ファン | 透過液晶パネル)

製品のお手入れについて

- お手入れの際は、電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外してください。
- 汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- 化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
- ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
- ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
- シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。
- ビックアップレンズにゴミやホコリが付着すると再生不良の原因となりますので、その場合は市販のレンズクリーナーを使用してください。
- 排気口や吸気口に溜まったホコリなどは、定期的に取り除いてください。排気口や吸気口が目詰まりすると、本機内の流れが悪くなり故障の原因になることがあります。

製品の温度について

- 密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 製品の上や近くに、熱で変形しやすいものを置かないでください。
- 製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、ACアダプタのプラグをコンセントから取り外してください。

結露 (つゆつき) について

- 温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
- 結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
- 結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
- 寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

磁気や電磁妨害について

- 磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
- 電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
- 磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

しばらく使用しないときは

- 使用後は節電のため、電源を切ってください。
- 長く使用しない場合、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
- 取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクに付属の取扱注意書をよくお読みください。
- 対応する再生可能なディスクであっても、再生できない場合があります。
- レコーダーやパソコンなどで録画したDVDディスクを再生する場合、録画したレコーダーやパソコンでファイナライズを実行する必要があります。
- レコーダーやパソコンなどによってDVDディスクのファイナライズを実行しても、再生できない場合があります。
- ディスクに指紋やホコリなど汚れが付着すると、映像が乱れたり、雑音が発生したり、再生不良の原因となります。
- 保管する際は、専用ケースに入れ、温度や湿度の高いところ、直射日光の当たるところを避けてください。
- 信号面（光っている面）には手を触れないでください。
- ディスクの汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってから、内側から外側へふき取ってください。
- ひどい汚れは、市販のディスククリーナーを使用してください。
- 折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をかけないでください。
- シールやテープを貼ると、ディスクに反りが起こり、使用できなくなる可能性があります。
- 印刷面に文字などを書き込む場合、硬いものは使用せず、やわらかいフェルトペンなどを使用してください。
- 正円形のディスクを使用し、それ以外の形のディスクは使用しないでください。
- 本体の傾きや振動によりディスクにキズが付く可能性がありますので、ディスクの再生時は本体を安定した場所に設置してください。

外部メモリの取り扱いについて

- 外部メモリに付属の取扱注意書をよくお読みください。
- 対応する再生可能な外部メモリであっても、再生できない場合があります。
- 保管する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。
- 端子部に、ゴミやホコリといった異物を付着させないでください。
- 折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をかけないでください。
- シールやテープを貼ると、コネクタに抜き差しできなくなったり、コネクタを破損させる可能性があります。

データについて

- 対応する再生可能なファイル形式であっても、再生できない場合があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、磁気や電磁妨害によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。
- 大切なデータは、他の記憶媒体へのバックアップをお勧めします。
- データの管理は、お客様の責任において行ってください。

電波に関する注意

- 本製品では、2.4GHz帯域の電波を使用しています。(2.4GHz帯域では、無線LANなどの無線機器、電子レンジなどの産業機器や科学機器、医療機器のほか、工場の生産ラインで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要さない特定小電力無線局、アマチュア無線局などの無線局が運用されています。)
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。
- 本製品を使用する前に、近くで2.4GHz帯域の電波を使用した無線局が運用されていないことを確認してください。
- 磁場や静電気、電波障害が発生するところや、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近くでは、本製品を使用しないでください。
- 万が一、本製品とほかの無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに、使用場所を変更するか、使用をやめてください。
- 電波干渉が発生した場合など、お困りの際はテクニカルサポートへお問い合わせください。

投射する映像の著作権について

- 営利目的や公衆に視聴させることを目的として、本製品を使って映像を投射する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投射範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがあります。
アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

免責事項

- 取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 運転中の製品の使用にともなって事故や交通違反が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

ディスクについて

使用できるディスク

下記のマークはディスクラベル、パッケージ、またはジャケットに記載されています。

ディスク	マーク	内容
DVD ディスク	 	・ 12cm / 8cm ・ リージョンコードが2 および ALL ・ 映像方式：NTSC
DVD-R/RW DVD-R DL	 	・ 12cm / 8cm
DVD+R/RW DVD+R DL	 	・ 12cm / 8cm
CD		・ 12cm / 8cm
CD-R CD-RW		・ 12cm / 8cm

●ディスクにマークがあっても、データの作り方やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

- 本製品は、日本のテレビ方式 (NTSC) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
- 市販されている DVD ディスクによっては再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

- リージョンコードが「2」や「ALL」以外の DVD ディスク。
- DVD オーディオ、SACD、DVD-RAM など、使用できるディスクに記載のない規格のもの。
- フォト CD、CD-G、CD-EXTRA のデータなど。

記録型ディスクの再生について

- 本製品が対応している記録型ディスクであっても、データの記録状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクを再生することはできません。
また、レコーダーやパソコンによって、ファイナライズを実行しても本製品で再生できない場合があります。



著作権保護機能 (CPRM) のついたディスクの再生について

- 著作権保護機能「CPRM」対応のディスクに録画された、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には著作権保護のためにコピー制御信号が記録されています。本製品は CPRM の VR モード再生に対応していますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

コピーコントロール機能のついたオーディオCDの再生について

- コピーコントロール機能のついた CDの中には、CD規格に合致していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。

再生するときの制約

- 本取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。
DVDディスクは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあるため、操作したとおりに動作しないことがあります。
- ボタン操作中にテレビ画面に  と表示されることがあります。 と表示されたときは、本製品がディスクがその操作に対応しておりません。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクラベルやパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例

内容



記録されている音声の数を示します。
(左の例は、日本語、英語などのような2種類の音声が入録されています)



記録されている字幕の数を示します。
(左の例は、日本語、英語などのような2種類の字幕が入録されています)



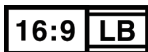
記録されている角度（マルチアングル）の数を示します。
(左の例は、3種類の角度で収録されています)



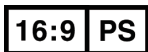
横：縦＝4：3の標準サイズで記録されていることを示します。



レターボックス（横：縦＝4：3で上下に黒帯が入っている画面）で記録されていることを示します。



縦：横＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。



縦：横＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はパン&スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されることを示します。

リージョンコード (地域番号)

リージョンコードについて

- DVDプレイヤーとDVDディスクには、それぞれ発売地域ごとにリージョンコード(地域番号)が設定されており、お互いのリージョンコード(地域番号)が一致しない場合、再生することができません。



本製品のリージョンコード (地域番号) は“2”です。

本製品で再生できる DVD ディスクのリージョンコードについて

- ご使用になるディスクにリージョンコード(地域番号)が設定されている場合、ディスクやパッケージに“2”または“ALL”のリージョンマークが記載されていないと、本製品では再生することが出来ません。



著作権について

- コンテンツの複製は私的使用のための複製に限られ、個人として楽しむなどのほかは、本製品や複製したコンテンツを使用することができません。
- コンテンツを著作権者に無断で複製、配布、配信、販売などといった二次利用する行為は著作権法に違反します。

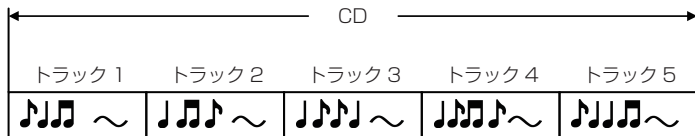
ディスクの内容の区分

タイトル、チャプター、トラック

DVD ディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。



CDは、「トラック」で区切られています。



タイトル : DVD ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

チャプター : タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

トラック : CD の内容を曲ごとに区切ったもの。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号が割り当てられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

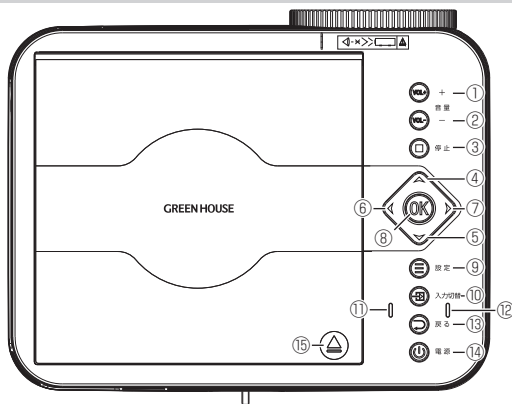
●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

各部のなまえ

各部名称

本体とリモコンの各部名称を紹介します。

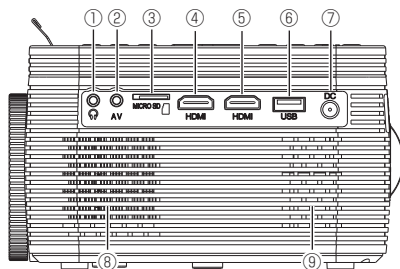
上面図












①		+	音量を上げます
②		-	音量を下げます
③		停止	ディスクやファイルの再生を停止します
④			カーソルを上移動します
⑤			カーソルを下移動します
⑥			カーソルを左移動します
⑦			カーソルを右移動します
⑧			項目の決定をします

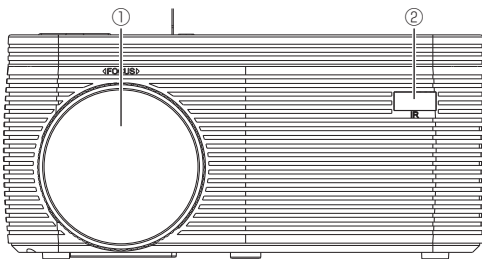
⑨		設定	設定画面を表示します
⑩		入力切替	入力切替メニューを表示します
⑪			電源オフ(スタンバイ)時に点灯します
⑫			電源オン時に点灯します
⑬		戻る	前の項目に戻ります
⑭		電源	電源のオン/オフをします
⑮			ディスクトレイカバーを開閉します

右側面部



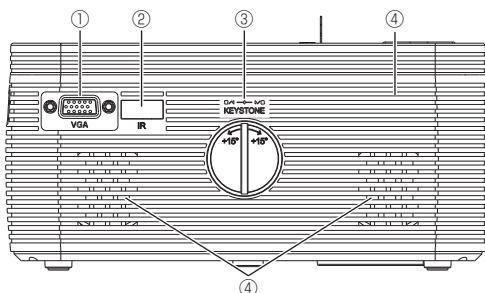
①		φ3.5ステレオミニジャック用のスピーカーやヘッドホンなどを接続します	⑥		USBメモリーを挿します
②		映像入力時に専用AVケーブルを接続します	⑦		専用ACアダプターを接続します
③		microSD/SDHCメモリーカードを挿します	⑧		排気口 内部の熱を排気します
④		HDMI入力端子1 HDMIケーブルを接続します	⑨		吸気口 外気を取り入れます
⑤		HDMI入力端子2 HDMIケーブルを接続します			





前面部



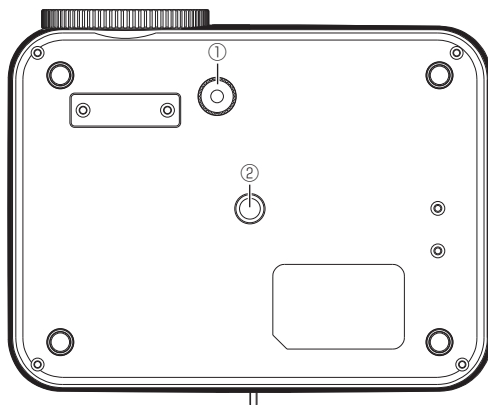
①		レンズ 映像が投写されます	②	 IR	リモコン受光部 リモコンからの操作を受信します
---	---	------------------	---	--	----------------------------



背面部



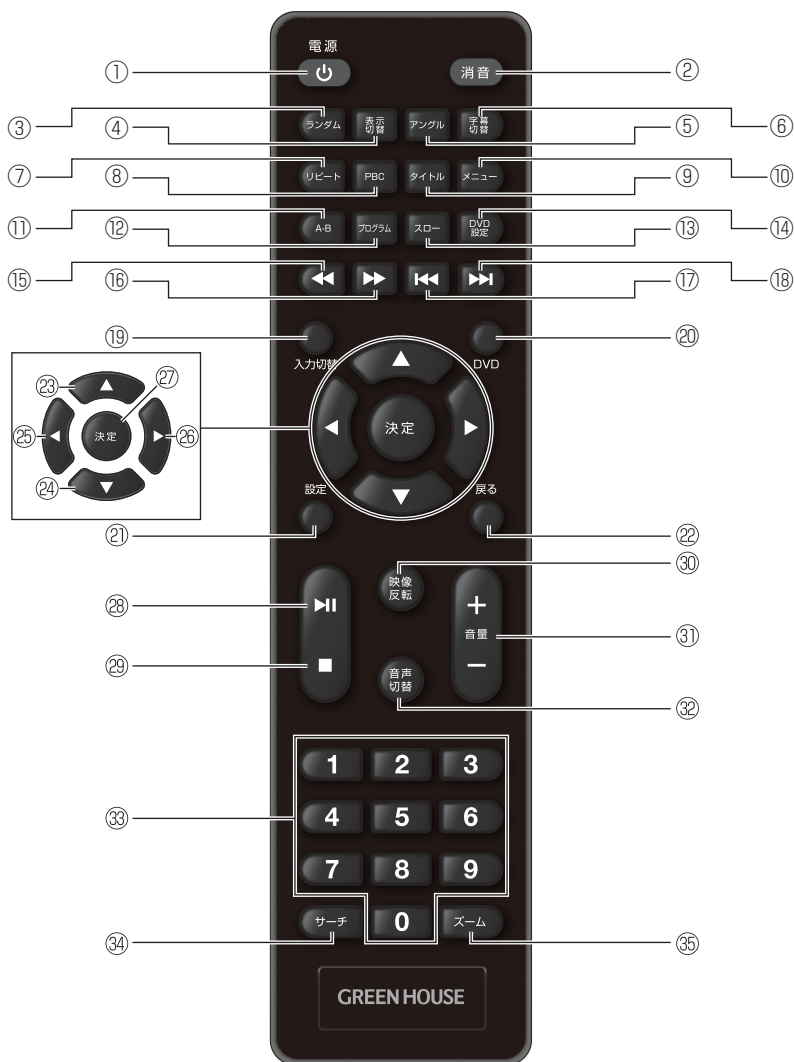
①	 VGA	VGA入力端子 VGAケーブルを接続します	③		台形アジャスト 台形補正を手動で行います
②	 IR	リモコン受光部 リモコンからの操作を受信します	④		スピーカー 音声を出力します



















底面部



①		アンクルアジャスタ 投写アングルの高さを調整します
②		三脚取り付けネジ穴 付属の三脚を取り付けます

リモコン



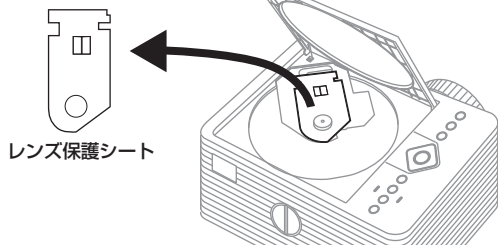
①		電源のオン/オフをします
②		消音します
③		再生順を変更します
④		情報の表示を切り替えます
⑤		アングルを切り替えます
⑥		字幕を切り替えます
⑦		リピート再生をします
⑧		※本製品ではこのボタンは使用しません
⑨		タイトルメニューを表示します
⑩		ルートメニューを表示します
⑪		区間指定のリピート再生をします
⑫		プログラム再生設定を表示します
⑬		スロー再生をします
⑭		DVD設定メニューを表示します
⑮		早戻し再生をします
⑯		早送り再生をします
⑰		前のチャプターへ移動します
⑱		次のチャプターへ移動します

⑲		入力切替メニューを表示します
⑳		DVDモードに切り替えます
㉑		プロジェクター設定メニューを表示します
㉒		前の項目に戻ります
㉓		カーソルを上移動します
㉔		カーソルを下移動します
㉕		カーソルを左移動します
㉖		カーソルを右移動します
㉗		項目の決定をします
㉘		ディスクやファイルを再生/一時停止します
㉙		ディスクやファイルの再生を停止します
㉚		投写している映像を反転/回転をします
㉛		音量を調整します
㉜		音声を切り替えます
㉝		数字を入力します
㉞		サーチ再生設定を表示します
㉟		画面をズームします

●上記は一例です。ディスクや実行中のメニューによって動作は異なります。

ディスクトレイカバーを開く

ディスクトレイカバーを開けるとレンズ保護シートが取り付けられていますので、取り外してからご使用ください。



レンズ保護シート

無理に開かない!!

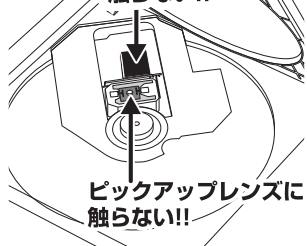


ディスクをセットする際は(▲)を操作し、ディスクトレイカバーが自動的に開いた状態で行なってください。

自動的に開いた角度以上にディスクトレイカバーを開くと、故障したり、ディスクトレイカバーが破損する場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

※ディスクトレイカバーは、50度以上開きません。

**フラットケーブルに
触らない!!**



**ピックアップレンズに
触らない!!**

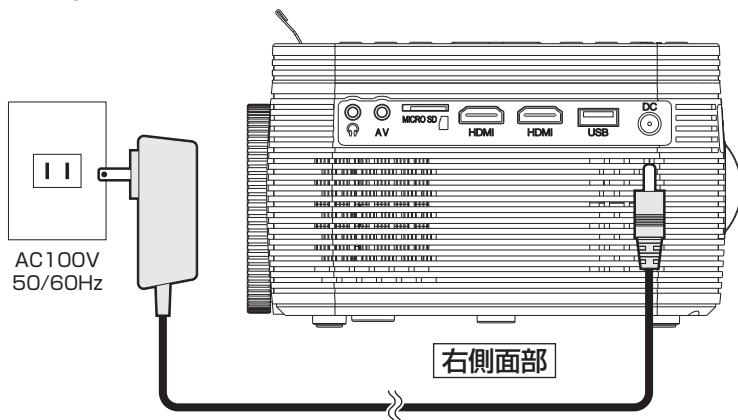
ピックアップレンズにより、ディスクに記録されたデータを読み取り、フラットケーブルにより、読み取ったデータをやり取りしていますので、ピックアップレンズやフラットケーブルには触れないでください。

ピックアップレンズやフラットケーブルに触れると、故障したり、破損する場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

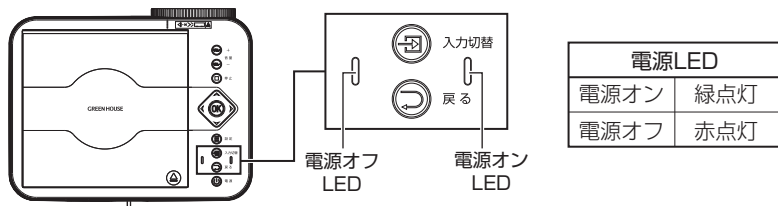
※ピックアップレンズにチリやホコリが付着した場合は、市販のレンズクリーナーを使用してください。

専用 AC アダプタ接続

右側面の  に付属のACアダプタを接続します。



LEDの状態は以下の表の通りになります。



注意

- 付属のACアダプタ以外を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ACアダプタの電源周波数は50Hz/60zのどちらの地域にも対応しています。
- 使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ACアダプタを接続するときは電源を切ってください。
- ACアダプタを接続すると、電源LEDが「電源オフLED(赤)」→「電源オンLED(緑)」→「電源オフLED(赤)」の順に点灯します。上記の動作中は、本体を起動しているため操作を受け付けません。動作が止まり「電源オフLED(赤)」が点灯するまで待ってから操作を行ってください。

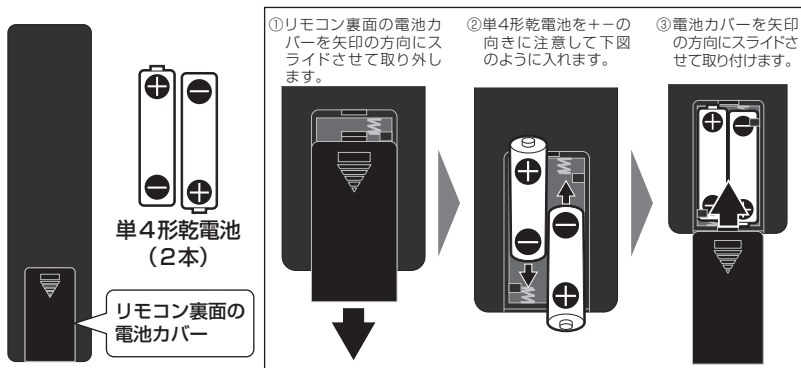
リモコンを準備する

初めてご使用になる場合は、リモコン裏面の電池カバーを開けて、単4形乾電池2本を取り付けてから、電池カバーを閉めて使用してください。

電池を交換する場合は、市販の単4形乾電池をリモコンの刻印に従って交換してください。

- 長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
- 付属の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。
- 本製品のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があって信号が遮られていると動作しません。
- リモコンを落としたり、水や液体をかけるなどしないでください。
- リモコンを使用する際はできるだけ熱や湿気のないところで使用してください。

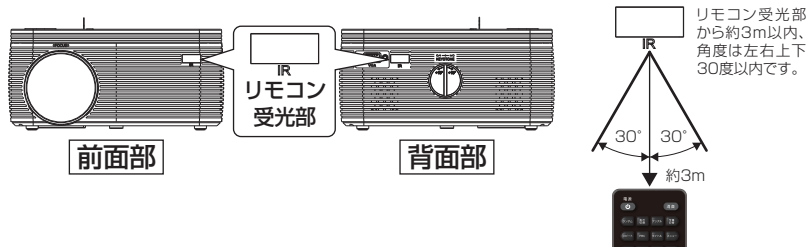
リモコン用電池の入れ方





リモコンの使い方



リモコンは、本体前面部と背面部にあるリモコン受光部に向けて操作してください。

※リモコンの受光範囲は受光部から約3m以内、角度は左右上下30度以内です。



電源操作

本体上部の  電源 ボタンかリモコンの  ボタンを押すと電源がオンになります。
電源をオンしてから約10秒ほどで投写が始まります。


電源を切るときは、もう一度  電源 ボタンか  ボタンを押します。




- 電源をオンすると電源LEDが赤緑交互に点滅します。
- 電源をオンしてから映像が投写されるまで多少の時間がかかります。

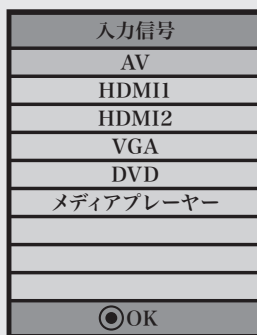
動作モードを切り替える





各動作モードの切り替え方法をご紹介します。





電源オン後、画面が投写されている状態で本体上面の  入力切替 ボタンかリモコンの

 ボタンを押すと、メニューが表示されます。

入力切替



- AV . . . 映像入力端子  に接続した機器の映像を表示します
- HDMI1 . . . HDMI入力端子1  に接続した機器の映像を表示します
- HDMI2 . . . HDMI入力端子2  に接続した機器の映像を表示します
- VGA . . . VGA入力端子  に接続した機器の映像を表示します
- DVD . . . DVDディスクやCDを再生する、DVDモードに移行します
- メディアプレーヤー . . . microSD/USB メモリーを読み込み、メディアプレーヤーに移行します

本体上面の  入力切替 ボタンかリモコンの  で項目を選択し、 /  ボタンで確定してください。

接続方法

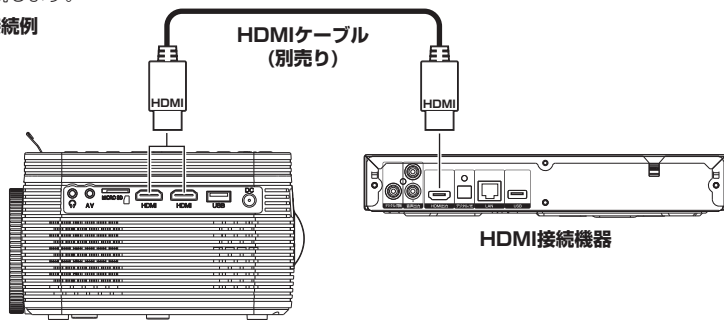
映像・音声入力端子を使用した機器の接続方法を紹介します。

- 機器の接続は、必ず電源を切って AC アダプタをコンセントから抜いてから行ってください。
- 接続機器の操作や接続方法は、接続機器の取扱説明書を参照してください。

HDMI 機器の接続 / 表示

1. HDMIケーブルを接続する前に本体の電源を切り、ACアダプタのコンセントを抜いてください。
2. 本体の「HDMI1端子」か「HDMI2端子」に HDMIケーブル(別売り)で、HDMI接続機器を接続します。

■接続例



3. 電源 / 電源 ボタンを押すと、電源が入り電源オン LED が緑点灯します。
4. 入力切替 ボタンを押すと動作切替メニューが表示されます。
5. ボタンで「HDMI1」か「HDMI2」を選択して 決定 / OK ボタンを押します。
6. 電源 / 電源 ボタンを押すと電源が切れます。

入力信号
AV
HDMI1
HDMI2
VGA
DVD
メディアプレーヤー
OK

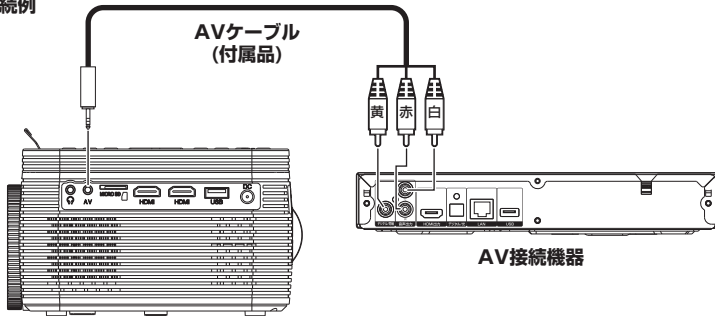
動作切替メニュー

- 接続している HDMI 接続機器の再生中に本製品から音声がない場合、接続機器のデジタルオーディオ出力の設定を確認し、「自動」か「PCM」モードに設定されていることを確認してください。

AV機器の接続 / 表示

1. AVケーブルを接続する前に本体の電源を切り、ACアダプタのコンセントを抜いてください。
2. 本体の「AV端子」に付属の AVケーブルで、AV接続機器を接続します。

■接続例



3. 電源 / 電源 ボタンを押すと、電源が入り電源オン LED が緑点灯します。
4. / 入力切替 ボタンを押すと動作切替メニューが表示されます。
5. / ボタンで「AV」を選択して / ボタンを押します。
6. 電源 / 電源 ボタンを押すと電源が切れます。

入力信号
AV
HDMI1
HDMI2
VGA
DVD
メディアプレーヤー
OK

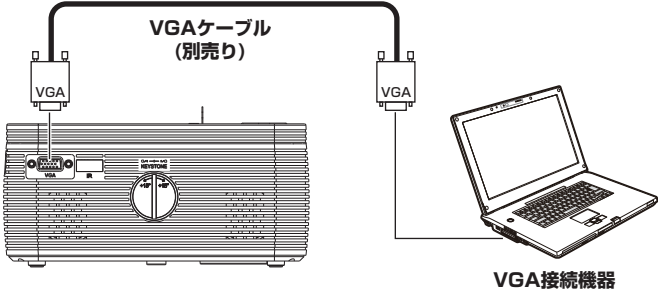
動作切替メニュー

- 映像機器側の音量を最小にしてから接続してください。
- 接続する機器の組み合わせによって画面の比率が乱れる場合があります。
- すべての入力機器を動作保証するものではありません。

VGA機器の接続 / 表示

- VGAケーブルを接続する前に本体の電源を切り、ACアダプタのコンセントを抜いてください。
- 本体の「VGA端子」にVGAケーブル(別売り)で、VGA接続機器を接続します。

■接続例



- 電源 / ボタンを押すと、電源が入り電源オンLEDが緑点灯します。
- / 入力切替 ボタンを押すと動作切替メニューが表示されます。
- ボタンで「VGA」を選択して / ボタンを押します。
- 電源 / ボタンを押すと電源が切れます。

入力信号
AV
HDMI1
HDMI2
VGA
DVD
メディアプレーヤー
●OK

動作切替メニュー

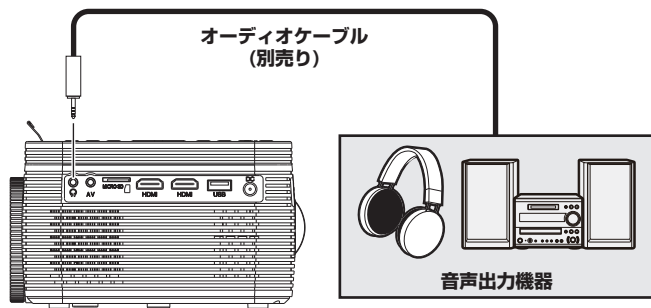
- パソコンからの出力信号を調整する場合、下表を参照してください。





解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	モード
640×480	31.5	60	VGA
	34.7	70	
	37.9	72	
	37.5	75	
800×600	31.4	50	SVGA
	35.1	56	
	37.9	60	
	46.6	70	
	48.1	72	
	46.9	75	
1024×788	40.3	50	XGA
	48.4	60	
	56.5	70	

音声出力機器の接続 / 表示

1. オーディオケーブルやイヤホンを接続する前に本体の電源を切り、ACアダプタのコンセントを抜いてください。
2. 本体の「イヤホン端子」にオーディオケーブルやイヤホン(別売り)で、音声出力機器を接続します。

■接続例



3.  電源 /  電源 ボタンを押すと、電源が入り電源オンLEDが緑点灯します。
4.  電源 /  電源 ボタンを押すと電源が切れます。

●イヤホン端子に音声出力機器を接続した場合、本製品から音声はできません。

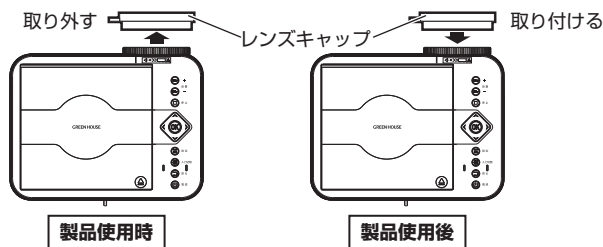
設置と調整

製品の設置と調整方法を紹介します。

レンズキャップの取り付け / 取り外し

製品使用時は、必ず付属のレンズキャップを取り外してください。

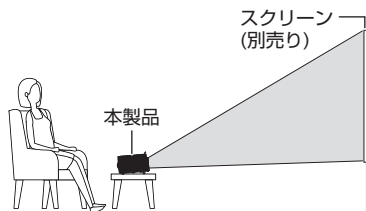
また、製品使用後は、付属のレンズキャップを取り付けてください。



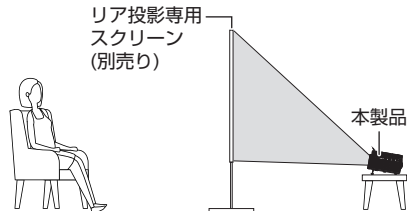
投影方法

投影方法には、スクリーン前から投影するフロント投影とスクリーン後ろから投影するリア投影があります。

フロント投影

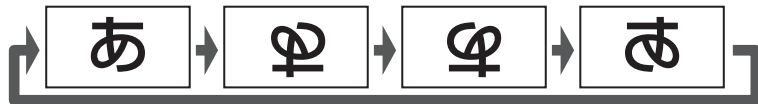


リア投影



- リア投影の場合、リア投影専用のスクリーン(別売り)が必要になります。
- リア投影の場合、映像が反転するので  ボタンを押して、映像を反転・回転させてください。

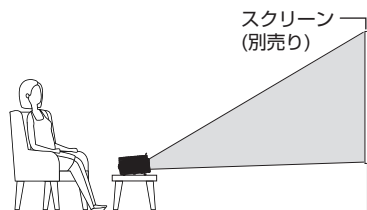
反転ボタンを押すごとに、下記のように反転・回転します



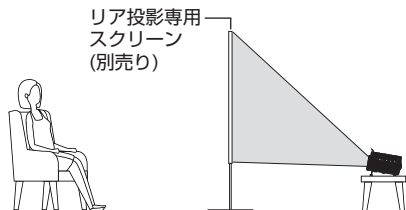
設置方法

フロント投影

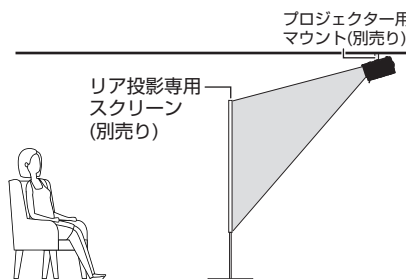
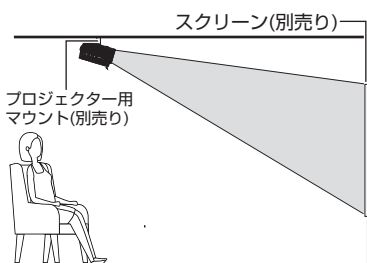
■テーブルなど台の上に設置する場合



リア投影



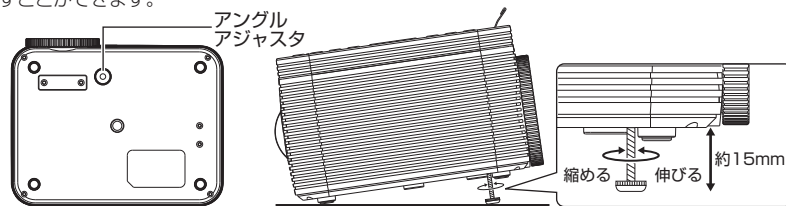
■天井など高所に設置する場合



- 本製品が落下・転倒しないようしっかりと固定してください。
- 本製品とスクリーンの距離が、最小約1m・最大約4.3mの範囲になるよう設置してください。

アングルアジャスタを使った角度調整

テーブルなどの台の上に設置した場合、アングルアジャスタを使用して角度を調整することができます。本体底面にあるアングルアジャスタを反時計回りに回すと高さが最大約 15mm まで伸びることができます。

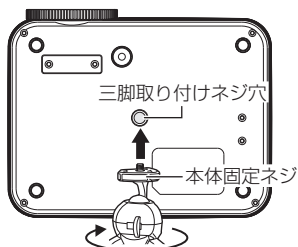


- アングルアジャスタはネジ状になっているので、反時計回りに回しすぎると外れますのでご注意ください。

三脚(付属品)を使った角度調整

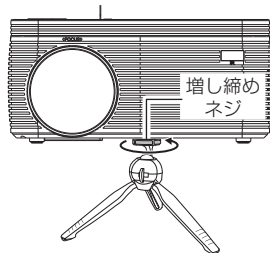
■三脚の取り付け方法

三脚の「本体固定ネジ」を本体底面にある「三脚取り付けネジ穴」に合わせ、三脚全体を時計回りに回し固定します。



三脚全体を時計回りに回す

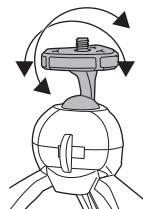
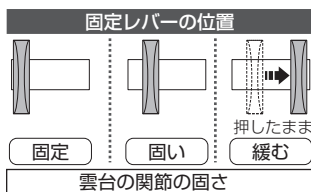
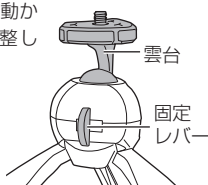
三脚を取り付けたら、増し締めネジを反時計回りに回し、しっかり固定します。



増し締めネジを反時計回りに回し固定する

■角度の調整

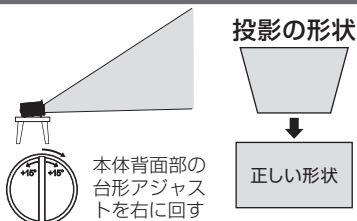
三脚の雲台を動かし、角度を調整します。



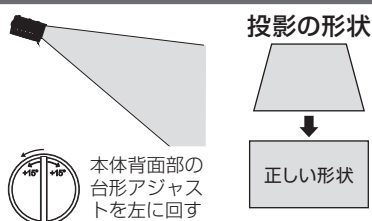
台形補正

下図のように正面から投影できない場合、投影の形状が変化します。本体背面の台形アジャストを回し、投影が正しい形状になるように調整してください。台形補正は±15°の範囲で調整できます。

上向きに角度がある場合



下向きに角度がある場合

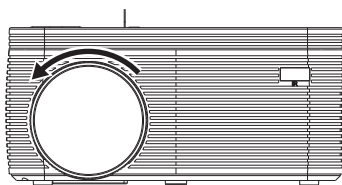
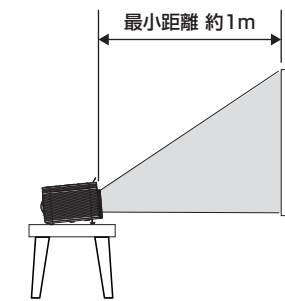


●台形アジャストでも補正できない場合、設置位置や角度を見直してください。

フォーカス調整

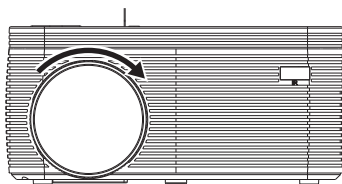
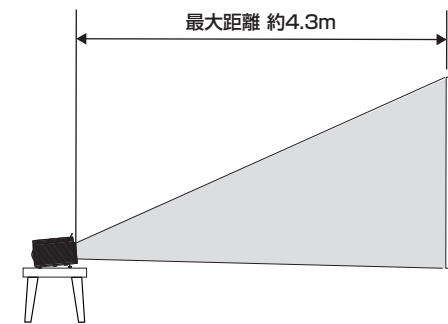
投影した画像がぼやけて見える場合、フォーカス(焦点)を調整してください。

■本製品とスクリーンが近い場合に投影画像がぼやけて見える



本体前面部にあるフォーカスアジャストノブを左に回して調整してください。

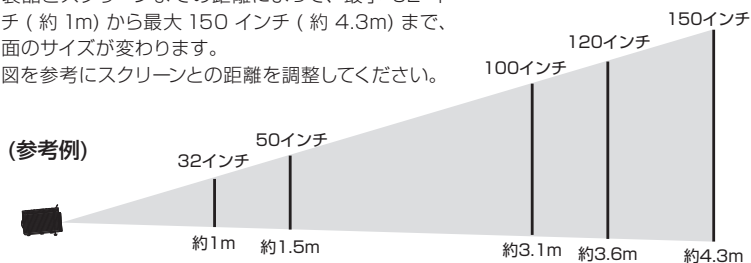
■本製品とスクリーンが遠い場合に投影画像がぼやけて見える



本体前面部にあるフォーカスアジャストノブを右に回して調整してください。

本製品とスクリーンまでの距離によって、最小 32 インチ (約 1m) から最大 150 インチ (約 4.3m) まで、画面のサイズが変わります。

下図を参考にスクリーンとの距離を調整してください。









再生（基本編）

ディスクを再生する（基本編）

ディスクの基本操作を紹介します。操作方法はディスク再生時のリモコン操作を中心に解説します。


- DVD ディスクの収録状態によって、操作ができない場合があります。
- レコーダーなどで録画したディスクは解説した機能が使用できない場合があります。
- 再生できないディスクや、ディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。
- ディスクトレイカバーを上から強く押さないでください。


ディスクを再生する

1. ディスクトレイカバーを開けます
本体の  を操作してディスクトレイカバーを開けます。
2. ディスクを入れます
再生面を下にして、ディスクの穴をディスクトレイ中央部の突起に、カチッと音がでるまでしっかりとはめこみます。
3. ディスクトレイカバーを閉めます
開いたカバーをカチッと音がするまで下に押しします。
4. 本体上面の  電源 ボタンかリモコンの  ボタンを押します。
5. リモコンの  ボタンを押すか、 /  入力切替 ボタンを押し、入力切替メニューから「DVD」を選択すると、ディスクが再生されます。

- 直前の使用が DVD モードだった場合、DVD ボタンを押さなくても自動的に再生されます。

再生を停止する


リモコンの  ボタンを押すと、再生が停止し「GREEN HOUSE」のロゴ画面になります。

リモコンの  ボタンを 1 度押した場合は停止位置が記憶されますが、ボタンを 2 度押した場合は停止位置が記憶されませんので、ディスクの先頭から再生が開始されます。

一時停止する



再生中にリモコンの  ボタンを 1 度押すと一時停止します。
通常再生に戻るには、もう 1 度  ボタンを押してください。


ディスクの先頭から再生する


リモコンの  ボタンを続けて 2 回押すと、画面右上に「■」が表示されます




リモコンの  ボタンを押すと、ディスクの先頭から再生されます。

早送り / 早戻しする



再生中にリモコンの  /  ボタンを押すと、早送り / 早戻し再生になります。


 ボタンを押すごとに早送りスピードが 2× ~ 32× で変化します。


 ボタンを押すごとに早戻しスピードが 2× ~ 32× で変化します。

通常再生に戻るには 32× の状態でもう一度、 /  ボタンを押します。
リモコンの  ボタンを押しても戻れます。


前後のチャプターへ移動する



再生中にリモコンの  /  ボタンを押すと、前後のチャプターを選択できます。

 ボタンを押すと、次のチャプターの開始地点へ移動します。

 ボタンを押すと、再生中のチャプターの開始地点へ移動します。
前のチャプターの開始地点へ移動するには 2 回押してください。


音量調整する


再生中にリモコンの  ボタンを押すと「0」～「100」の間で音量調整できます。


消音したい場合は、再生中にリモコンの  ボタンを押します。画面左下に「消音」と表示され消音状態となり、内蔵スピーカーとヘッドホンから音が聞こえなくなります。消音状態を解除するには、もう1度  ボタンを押してください。

メニュー画面を表示する

メニュー画面が記録されている DVD ディスクでは、メニュー画面からタイトルやチャプターを選択しての再生、音声や字幕の設定が可能なものもあります。

リモコンの  ボタンを押すと、DVD ディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。

リモコンの  ボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

リモコンの  ボタンを押すと、選択した項目が表示されます。

再生（応用編）


ディスクを再生する（応用編）

ディスクの応用操作を紹介します。

音声を切り替える

複数の音声記録されている DVD ディスクは、音声の切り替えができます。

※例：DVD ディスクに「日本語」と「英語」が収録されている場合はどちらか選択できます。


再生中にリモコンの  ボタンを押すごとに音声切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って音声を切り替える場合があります。
- 1つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り替えはできません。
- DTS 収録された音声は再生できません。

字幕を切り替える

字幕が記録されている DVD ディスクでは、字幕の表示 / 非表示を切り替えられます。

また、複数の字幕が記録されている DVD ディスクでは、字幕を切り替えられます。


再生中にリモコンの  ボタンを押すごとに表示される字幕が切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕を切り替える場合があります。
- 字幕が記録されていないディスクや、1つの字幕しか記録されていないディスクでは、字幕の切り替えはできません。

アングルを切り替える

複数のアングルが記録されているディスクでは、アングルを切り替えられます。

リモコンの  ボタンを押すと画面右上に下のように表示されます。

 1 / 9 現在のアングル番号 / 総アングル数

リモコンの  ボタンで、アングル番号を選択してください。

再生中の画面アングルが切り替わります。

- ディスクによっては、メニュー画面でアングルを切り替える必要があります。
- 1つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り替えはできません。


再生（便利な再生機能編）

ディスクを再生する（便利な再生機能編）

ディスクの便利な再生機能を紹介します。

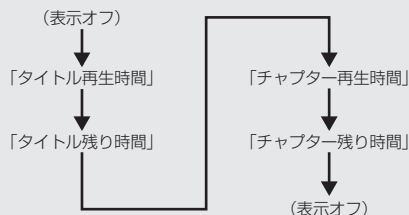
再生中の情報を表示する

再生中のディスク情報を画面上部に表示して確認できます。

再生中にリモコンの  ボタンを押すと下のよう画面に表示されます。


TT: 01/03 CH: 17/36 1:08:26 ※タイトル再生時間の一例です。

リモコンの  ボタンを押すごとに情報表示が切り替えられます。



●ディスクによっては、時間などが正常に表示されない場合があります。

サーチ再生する

リモコンの  ボタンで、ご覧になりたいチャプターや時間を指定して、頭だし再生ができます。

数字の入力は  ボタンで行います。



1 回ボタンを押すと、右の例のように表示されチャプターを指定できます。

TT:01/03 CH:□/36

続けて 2 回ボタンを押すと、右の例のように表示され時間を指定できます。

TT:01/03 Time : :

続けて 3 回ボタンを押すと、右の例のように表示され再生中のチャプター内で時間を指定できます。

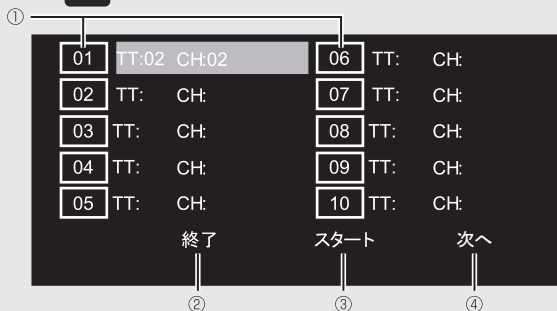
CH:01/03 Time : :

●ディスクによっては、サーチ再生できない場合があります。

プログラム再生

好みの順にチャプターを20番目までプログラムして再生します。

再生中にリモコンの **プログラム** ボタンを押すと画面に下図のようなメニューが表示されます。



- ① … 「TT:」にはタイトル番号を「CH:」にはチャプター番号を入力します。
リモコンの **決定** ボタンで入力モードに切り替わり **0000** ボタンで数字を入力します。
- ② … 「プログラム再生」画面を終了します。
- ③ … ①に登録したプログラム再生をスタート(停止)します。
- ④ … 「次のページ」を選択すると、11～20番目まで登録できる画面に切り替わります。

プログラム再生を終了するには、もう1度 **プログラム** ボタンを押して「停止」を選択してください。

●ディスクによってはプログラム再生機能が有効にならない場合があります。

ズーム再生する

DVD ディスク再生中に、リモコンの **ズーム** ボタンを押すと、ズーム再生になります。
ボタンを押す毎に [2×] [3×] [4×] [1/2] [1/3] [1/4] が選択でき、
もう1度 **ズーム** ボタンを押すと通常再生に戻ります。

●ディスクによっては、ズーム再生できない場合があります。

リピート再生する

お好みの「チャプター」「タイトル」をリピートして再生できます。

リモコンの **リピート** ボタンを押すごとに下のリピートモードが選択できます。

チャプター (Chapter) . . . 現在のチャプターを繰り返し再生し、チャプターの最後まで再生すると、チャプターの先頭から再生が始まります。

タイトル (Title) . . . 現在のタイトルを繰り返し再生し、タイトルの最後まで再生すると、タイトルの先頭から再生が始まります。

オール (ALL) . . . ディスク全体を繰り返し再生します。

リピートオフ . . . リピート再生を無効にし、通常再生に戻ります。

- ディスクによっては、リピート再生できない場合があります。
- CD 再生時は [トラック] [オール] [リピートオフ] が使用できます。

指定区間リピート再生する

お好みの 2 点間を指定して繰り返し再生できます。

再生中に開始位置に指定したい箇所ではリモコンの **A-B** ボタンを押すと、画面上に「A」と表示され、開始位置が記録されます。

画面左上に「A」と表示されている状態で、終了位置に指定したい箇所では、もう一度 **A-B** ボタンを押すと、画面上に「AB」と表示され、指定した 2 点間がリピート再生されます。通常再生に戻るには「AB」と表示されている状態で **A-B** ボタンを押します。

- ディスクによっては、指定区間リピート再生できない場合があります。

スロー再生する

再生中の速度を 1/2 ~ 1/16 倍でスロー再生 / スロー戻し再生できます。

ディスク再生中に、リモコンの **スロー** ボタンを押すと、スロー再生 / スロー戻し再生になります。

ボタンを押すごとに **▶** [1/2] [1/4] [1/8] [1/16] が選択でき、もう一度 **スロー** ボタンを押すと通常再生に戻ります。

- スロー再生中、音声は再生できません。
- ディスクによっては、スロー再生できない場合があります。

外部メモリーを使用する

使用できる外部メモリー

以下の外部メモリーに対応しています。

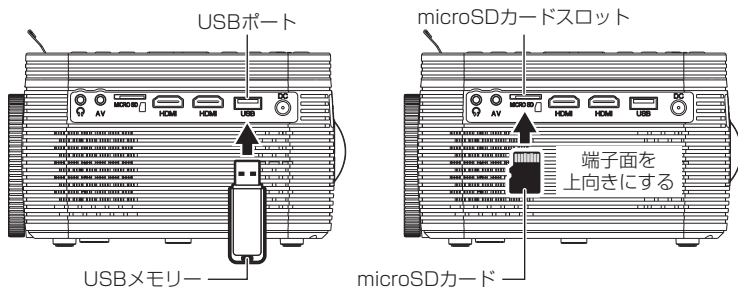
- ・ microSD メモリーカード (～ 2GB)
- ・ microSDHC メモリーカード (～ 32GB)
- ・ USB メモリー (～ 32GB)

- すべての外部メモリー、すべての容量の動作保証をするものではありません。
- FATやFAT32でフォーマットされた外部メモリーのみ使用でき、その他のフォーマットに設定された外部メモリーでの動作保証はしていません。
- microSD、microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。











外部メモリーを取り付ける

本体の USB ポートか microSD カードスロットに向きをよく確認して取り付けます。











- 外部メモリーの取り付け / 取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 搭載されているUSBポートは、USBメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本製品やUSBメモリーの故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。
- USBの規格では、USBポートから供給できる最大電流は500mAまでと決められています。
- 搭載されているUSBポートに接続している機器が500mA以上の電流を消費してしまった場合、規格を超えてしまうことになり、システムが不安定になったり、機器が破損したりすることがあります。

外部メモリー内のファイルを再生する

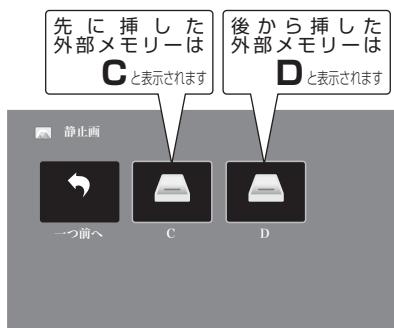
1.  電源 /  ボタンを押すと、電源が入り電源オンLEDが緑点灯します。
2.  /  入力切替 ボタンを押すと動作切替メニューが表示されます。
3.  /  ボタンで「メディアプレーヤー」を選択して  /  ボタンを押します。

再生するファイルの選択

1. 再生メディア選択画面が表示されますので、 /  ボタンで「静止画」「動画」「音楽」から再生したいファイルの種類を選択し  /  ボタンを押します。
2. ファイル選択画面が表示されますので、再生したいファイルの入ったメディアを選択します。
先に挿した外部メモリーは「C」、後から挿した外部メモリーは「D」になります。
3. フォルダがある場合は、再生したいファイルが入ったフォルダを選択し、 /  ボタンを押します。
4. 再生したいファイルを選択し、 /  ボタンを押します。



再生メディア選択画面



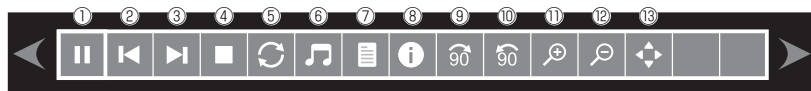
ファイル選択画面

静止画ファイル

ファイル選択画面で再生したい静止画を選択すると、選択したファイルからスライドショーが開始します。

スライドショーの操作は、画面下のサブメニューからリモコンのボタンから行います。

■静止画ファイルサブメニュー



ボタンで項目を合わせて、 ボタンを押して決定します。

サブメニューの表示を消したい場合は ボタン、再度表示したい場合は、 ボタンを押します。

	サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
①			スライドショーの再生/一時停止
②			前のファイルへ
③			次のファイルへ
④			停止(ファイル選択画面へ戻ります)
⑤			リピート再生します※1
⑥			BGMを再生/停止します※2
⑦			選択フォルダのファイルリストを表示します。

	サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
⑧			選択ファイルの詳細情報を表示します
⑨			右方向に90°回転します
⑩			左方向に90°回転します。
⑪			ズーム(拡大):約1倍・2倍・4倍・8倍に拡大表示します
⑫			ズーム(縮小):1倍・1/2倍・1/4倍に縮小表示します
⑬			サブメニューの移動などに押します
			1回押す:反転して上下回転 2回押す:上下回転 3回押す:左右反転

※1: ALL:すべてのファイルをリピート再生します
<1>:1つのファイルをリピート再生します。

none:リピート再生しません

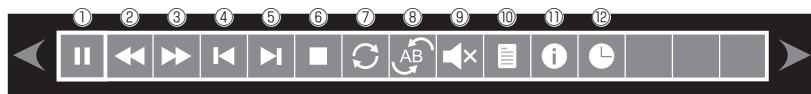
※2:静止画と同じフォルダに音楽ファイル(MP3ファイル)を入れるとBGMとして音楽が再生されます。もう一度選択すると再生が停止します。

●対応している静止画のファイル形式は、「JPG」「BMP」「PNG」です。

音楽ファイル

ファイル選択画面で再生したい音楽ファイルを選択すると、選択したファイルが再生されます。音楽ファイルの操作は、画面下のサブメニューからリモコンのボタンから行います。

■音楽ファイルサブメニュー



ボタンで項目を合わせて、ボタンを押して決定します。

サブメニューの表示を消したい場合はボタン、再度表示したい場合は、ボタンを押します。

	サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
①			音楽ファイルの再生/一時停止します
②			早戻し再生します
③			早送り再生します
④			前のファイルへ
⑤			次のファイルへ
⑥			停止(ファイル選択画面へ戻ります)

	サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
⑦			リピート再生します※1
⑧			区間指定のリピート再生をします※2
⑨			消音します
⑩			選択フォルダのファイルリストを表示します。
⑪			選択ファイルの詳細情報を表示します
⑫			サーチ再生します※3

※1: ALL:すべてのファイルをリピート再生します
 <1>:1つのファイルをリピート再生します。
 none:リピート再生しません

※2: 音楽再生中に選択すると「A-set」と表示され、再度ボタンを押すと「AB-set」と表示され、この間のリピートを繰り返します。
 終了したいときは、もう一度ボタンをおして「なし」になり、リピートを中止します。

※3: ファイル中の指定した時間から再生することが出来ます。
 検索時間入力メニューが表示されますので、指定時間をリモコンの数字キーで入力してボタンを押すと、カーソルが「OK」に移動しますので、再度ボタン押すと指定した時間から再生します。



●対応している音楽のファイル形式は、「MP3」です。

動画ファイル

ファイル選択画面で再生したい動画ファイルを選択すると、選択したファイルが再生されます。動画ファイルの操作は、画面下のサブメニューからリモコンのボタンから行います。

■動画ファイルサブメニュー



ボタンで項目を合わせて、**決定** ボタンを押して決定します。

サブメニューの表示を消したい場合は **戻る** ボタン、再度表示したい場合は、**決定** ボタンを押します。

	サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
①			動画ファイルの再生/一時停止します
②			早戻し再生します
③			早送り再生します
④			前のファイルへ
⑤			次のファイルへ
⑥			停止(ファイル選択画面へ戻ります)
⑦			リピート再生します※1
⑧			区間指定のリピート再生をします※2

	サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
⑨			選択フォルダのファイルリストを表示します。
⑩			選択ファイルの詳細情報を表示します
⑪			スロー再生: 1/2・1/4・1/8・1/16の速さでスロー再生します
⑫			ステップ再生: 決定 ボタンを押すごとに1コマずつ再生します。
⑬			サーチ再生します※3
⑭			画面表示サイズ変更: 決定 ボタンを押すごとに「自動」「16:9」「4:3」に切り替わります。
			消音します
			1回押す: 反転して上下回転 2回押す: 上下回転 3回押す: 左右反転

※1: ALL: すべてのファイルをリピート再生します
<1>: 1つのファイルをリピート再生します。
none: リピート再生しません

※2: 音楽再生中に選択すると「A-set」と表示され、再度 **決定** ボタンを押すと「AB-set」と表示され、この間のリピートを繰り返します。

終了したいときは、もう一度 **決定** ボタンをおして「なし」になり、リピートを中止します。
※3: ファイル中の指定した時間から再生することができます。
検索時間入力メニューが表示されますので、指定時間をリモコンの数字キーで入力して **決定** ボタンを押すと、カーソルが「OK」に移動しますので、再度 **決定** ボタン押すと指定した時間から再生します。



●対応している動画のファイル形式は、「MPEG4」です。

Bluetoothを使用する

Bluetoothの設定方法

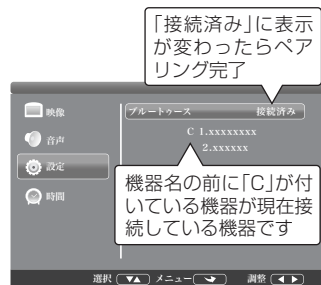
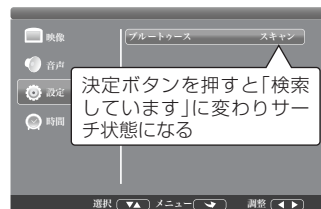
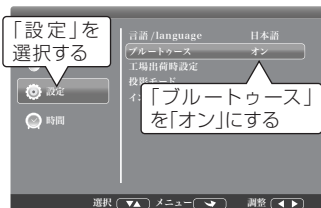
Bluetooth (Bluetooth) 対応の音声出力機器 (スピーカーやイヤホン) をペアリングすることで無線で音声を出力できます。

■ペアリングの登録方法




以下の手順にしたがって、設定メニューにBluetooth対応機器を登録してください。

1. ボタンを押します。
2. ボタンで「設定」を選択します。
3. ボタンで「Bluetooth」を選択し ボタンで「オン」にして ボタンを押します。
4. Bluetooth機器をペアリング可能な状態にします。
5. ボタンを押すと「スキャン」の表示が「検索しています…」に変わり、Bluetooth機器をサーチします。
6. サーチが完了したらサーチした機器が表示されます。
7. サーチした機器が 1 つだった場合、機器名の数字の前に「C」が表示され「接続済み」と表示されます。初回ペアリング時や、サーチした機器が複数だった場合、 ボタンで接続したい機器を選び、 ボタンを押すと、機器名の数字の前に「C」が表示され「接続済み」と表示されます。

※一度ペアリング登録されたBluetooth機器は、機器名が表示されますので、接続したい機器を ボタンで選び ボタンを押して機器名の数字の前に「C」が表示されたら接続完了です。



■ペアリングの切断方法

1.  ボタンを押します。
2.  ボタンで「設定」を選択します。
3.  ボタンで「Bluetooth」を選択し方向左右ボタンで「オフ」にします。
※Bluetooth機器の音声出力中に切断したいときはBluetooth機器の電源(接続)をオフにしてください。約 20 秒後に本製品のスピーカーから音声出力されます。
※切り替えに時間がかかります。


- 「Bluetooth」ワードマークおよびロゴは Bluetooth.SIG.Inc. の登録商標です。
- Bluetooth接続中はイヤホン端子から音が出されません。
- 同時接続可能な台数は 1 台です。
- 周囲の電波環境により機器が見つからなかったりペアリングに失敗することがあります。
- 屋外など 2.4GHz 帯の電波が多く使用されている場所では Bluetooth の接続が解除されたり音楽が途切れる場合がありますが故障ではありません。
- 設定でBluetoothを「オン」にしただけではBluetooth音声出力機器との自動接続は行いません。
- 航空機の中や医療機器、自動制御機器などの近くでは使用しないでください。誤動作などにより事故の原因となる場合があります。
- 本製品は国内専用です。海外での使用は電波法違反により罰せられる場合があります。
- Bluetooth「オフ」を選択すると Bluetooth オーディオ機器との接続が解除されます。また接続操作ができなくなります。再度Bluetooth機器を使用するにはBluetooth「オン」を選択してください。



DVD 設定

DVD設定メニューの操作

DVD の設定を変更するには設定メニュー画面で変更します。

設定画面の表示と操作方法

リモコンの  ボタンを押すと DVD設定メニュー画面が表示されます。

リモコンの  ボタンで項目を選択し、 ボタンで確定します。

一般設定

1 階層	2 階層	3 階層	解説
一般設定	映像出力タイプ	4:3PS	①
		4:3LB	
		16:9	
	アングルマーク	オン	②
		オフ	
	設定画面言語	英語	③
		日本語	
	スクリーンセーバー	オン	④
		オフ	
	ラストメモリー	オン	⑤
オフ			

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

- ①「4:3 PS」「4:3 LB」「16:9」が選択できます。
- ②アングルマーク表示の「オン」「オフ」が選択できます。
- ③設定画面言語の「英語」「日本語」が選択できます。
- ④スクリーンセーバー表示の「オン」「オフ」が選択できます。
- ⑤ラストメモリー（レジューム機能）の「オン」「オフ」が選択できます。

サウンド

1 階層	2 階層	3 階層	解説
サウンド	ダウンミックス	LT/RT	⑥
		ステレオ	



※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

- ⑥「LT/RT」「ステレオ」が選択できます。

画面調整

1 階層	2 階層	3 階層	解説
画面調整	鮮明度	低～中～高	⑦
	明るさ	-20～0～+20	
	コントラスト	-16～0～+16	
	色相	-9～0～+9	
	彩度	-9～0～+9	

⑨「鮮明度」「明るさ」「コントラスト」「色相」「彩度」を調整できます。

- 「明るさ」「コントラスト」「色相」「彩度」は  ボタンで項目確定後に  ボタンで調整できます。
- 画面調整は DVD モード時のみ反映されます。
- 画面調整の初期値は、「鮮明度」=「中」、「明るさ」=「-2」、「コントラスト」=「-9」、「色相」=「0」、「彩度」=「-4」になっています。

その他

1 階層	2 階層	3 階層	解説
その他	音声設定	英語	⑧
		日本語	
		中国語	
		フランス語	
		ドイツ語	
		イタリア語	
		スペイン語	
		ポルトガル語	
		その他	
	字幕設定	英語	⑨
		日本語	
		中国語	
		フランス語	
		ドイツ語	
		イタリア語	
		スペイン語	
		ポルトガル語	
		オフ	
	ディスクメニュー	英語	⑩
		日本語	
		中国語	
		フランス語	
		ドイツ語	
		イタリア語	
		スペイン語	
		ポルトガル語	
		その他	

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

1 階層	2 階層	3 階層	解説
その他	視聴制限	レベル 1	⑪
		レベル 2	
		レベル 3	
		レベル 4	
		レベル 5	
		レベル 6	
		レベル 7	
		レベル 8(無制限)	
	パスワード	パスワード	⑫
	設定初期化	リセットオン	⑬

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

- ⑧「英語」「日本語」「中国語」「フランス語」「ドイツ語」「イタリア語」「スペイン語」「ポルトガル語」「その他」を選択できます。
- ⑨「英語」「日本語」「中国語」「フランス語」「ドイツ語」「イタリア語」「スペイン語」「ポルトガル語」「オフ」「その他」を選択できます。
- ⑩「英語」「日本語」「中国語」「フランス語」「ドイツ語」「イタリア語」「スペイン語」「ポルトガル語」「その他」を選択できます。
- ⑪「レベル 1」「レベル 2」「レベル 3」「レベル 4」「レベル 5」「レベル 6」「レベル 7」「レベル 8(無制限)」を選択できます。
- ⑫詳細は次項の「**■**パスワードの設定」をご覧ください。
- ⑬設定を工場出荷時の状態に戻します。

- ⑧⑨⑩の設定は、再生する DVD ディスクによって設定どおりに動作しない場合があります。
- ⑪の設定は数値が小さいほど制限が厳しくなります。

■パスワードの設定

視聴制限を変更する場合にパスワードが求められます。そのパスワードの設定をこの項目から変更してください。



旧パスワード
新パスワード
パスワード確認

OK

パスワードは数字4桁で設定できます。パスワードを変更する場合は、すでに設定してあるパスワードを「旧パスワード」の欄に入力してください。その後、カーソルが自動的に下に移動しますので「新パスワード」の欄に新しく設定したいパスワードを入力してください。さらに確認のために「パスワード確認」の欄にもう一度新しいパスワードを入力し、「OK」ボタンで確定してください。


- 設定初期化を行っても、パスワードはリセットされません。
- 「旧パスワード」の初期値とマスターパスワードは「0000」になります。変更したパスワードがわからなくなった場合は「旧パスワード」の欄にマスターパスワードを入力し、再度「新パスワード」を入力し直してください。（マスターパスワードの変更はできません）
- パスワードの入力欄の表示は数字で表示されず「××××」で表示されます。
- 設定するパスワードは4桁である必要があります。6桁や8桁など、4桁以外の桁数の数字を設定することはできません。



プロジェクター設定

プロジェクター設定メニューの操作

プロジェクターの設定を変更するにはプロジェクター設定メニュー画面で変更します。

設定画面の表示と操作方法

リモコンの  ボタンを押すとプロジェクター設定メニュー画面が表示されます。

リモコンの  ボタンで項目を選択し、 ボタンで確定します。



※前の項目へ戻る場合は、 ボタンを押してください。

映像設定

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説
映像	画像モード選択	標準			①
		ソフト			
		ユーザー			
			コントラスト	0 ~ 100	②
			明るさ	0 ~ 100	
			色	0 ~ 100	
		シャープネス	0 ~ 100		
	色温度	鮮やか			①
		暖色系			③
		寒色系			
	画面サイズ	中性色			④
		16:9			
		4:3			
		自動			
パノラマ					
	ズーム 1				
	ズーム 2				

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

- ① 画像の鮮明度を「標準」「ソフト」「ユーザー」「鮮やか」から選択できます。
「ユーザー」を選ぶと「コントラスト」「明るさ」「色」「シャープネス」が選択できます。
- ② 「コントラスト」「明るさ」「色」「シャープネス」を調整できます。
- ③ 色温度を「暖色系」「寒色系」「中性色」から選択できます。
- ④ 画面サイズを「16:9」「4:3」「自動」から選択出来ます。DVD 再生中は加えて「パノラマ」「ズーム 1」「ズーム 2」を選択出来ます。

●「コントラスト」「明るさ」「色」「シャープネス」は  ボタンで項目確定後に  ボタンで調整できます。

●「ユーザー」の初期値は、「コントラスト」「明るさ」「色」「シャープネス」はそれぞれ「50」、「色温度」=「中性色」、「画面サイズ」=「自動」になっています。

音声設定

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説	
音声	音楽モード選択	標準			①	
		音楽				
		動画				
		スポーツ				
		ユーザー	高音	0 ~ 100		②
		低音	0 ~ 100			
		バランス	-50 ~ 50			③
		自動ボリューム	オン			④
			オフ			
		サラウンド音	オフ			⑤
	サラウンド					

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

①音楽モードを「標準」「音楽」「動画」「スポーツ」「ユーザー」から選択できます。

「ユーザー」を選ばると「高音」「低音」が選択できます。

②「高音」「低音」を調整できます。

③スピーカーの左右バランスを調整できます。

④「オン」にすると初期音量を大きく鳴らないようにします。

⑤「オフ」「サラウンド」が選択できます。

●「高音」「低音」「バランス」は ボタンで項目確定後に ボタンで調整できます。

●「ユーザー」の初期値は、「高音」「低音」はそれぞれ「50」、「バランス」の初期値は「0」になっています。

設定

1 階層	2 階層	3 階層	解説
設定	言語 / Language	ドイツ語	①
		フランス語	
		日本語	
		英語	
		イタリア語	
		スペイン語	
		ポルトガル語	
		ブルートゥース	②
		工場出荷時設定	③
		画面反転回転	0 ~ 3
	インフォメーション		⑤

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

①「ドイツ語」「フランス語」「日本語」「英語」「イタリア語」「スペイン語」「ポルトガル語」を選択できます。

②ブルートゥースの設定ができます。詳細は P.53 「ブルートゥースの設定方法」を参照してください。

③すべてのプロジェクター設定を初期化し、工場出荷状態にします。

④ ボタンか ボタンを押すごとに「1」「2」「3」「0」の順番に切り替わります。それぞれ「上下反転」「上下左右反転」「左右反転」「通常」に対応しています。

⑤製品のバージョン情報などを参照できます。

時計設定

1 階層	2 階層	3 階層	解説
時計	自動シャットダウン	オフ	①
		10分	
		20分	
		30分	
		60分	
		90分	
		120分	
		180分	
		240分	

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

①設定した時間経過後、シャットダウンします。「オフ」「10分」「20分」「30分」「60分」「90分」「120分」「180分」「240分」を選択できます。

- 設定時間の1分前になると画面にカウントダウンが表示されます。
- 設定時間中に電源をオフにすると自動シャットダウンの設定は解除されます。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら

製品本体

- 電源が入らない**
- 専用 AC アダプタをコンセントへしっかりと差し込んでください。(P.27)
 - 本体の内部温度が高くなっていませんか。
内部の温度が異常に高いと保護のため電源が入りません。しばらく待ってから電源をいれてください。(P.29)
- 使用中に電源が切れる**
- プロジェクターメニューの自動シャットダウンを設定していませんか。(P.61)
- 映像が出ない**
- 接続している入力を選んでいますか。
本体の入力切替ボタンまたはリモコンの入力切替ボタンを再度押してください。(P.30)
 - 入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。(P.31～33)
 - VGA入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。
コンピュータの解像度を確認してください。(P.33)
 - 各設定が正しく調整・設定されていますか。(P.55、P.59)
 - 解決しない場合は、プロジェクター設定メニューから工場出荷時設定を行ってみてください。(P.60)
- 映像が歪む**
- 正しく設置されていますか。(P.36)
 - 台形状に歪む場合は台形補正を手動で行ってください。(P.37)
- 映像がぼやける**
- レンズのフォーカスは合っていますか。(P.38)
 - 投写画面と製品本体が正しい角度で設置されていますか。(P.36)
 - 投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。(P.38)
 - レンズなどが結露していませんか。
気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れると、レンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまでお待ちください。
- 映像が乱れる**
- 製品本体に接続している信号ケーブルが断線していませんか。
- 映像が突然映らなくなった**
- 本体の内部温度が高くなっていませんか。
内部の温度が異常に高いと保護のため、LED ランプが消灯します。一度電源を切り、しばらく待ってから電源をいれてください。

-
- リモコンがきかない**
- 電池の＋、－の向きを確認してください。(P.28)
 - 電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。(P.28)
 - リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。(P.28)
 - リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。

-
- すべての設定を初期設定に戻したい**
- DVD 設定メニューの「その他」から「設定初期化」を選択し、出荷時の設定に戻してください。(P.57)
 - プロジェクター設定メニューの「設定」から「工場出荷時設定」を選択し、出荷時の設定に戻してください。(P.60)

●静電気や落雷、他の機器との干渉により、本製品が正常に機能しない場合があります。その際は、本製品の電源をオフにしてからオンにする、または電源をオフにしてから専用ACアダプタのプラグを抜き、再び挿し込んでから電源をオンにすることにより正常動作になる場合があります。


ディスク再生

- 再生できない**
- 本製品で再生できるディスクが確認してください。(P.15)
 - ディスクのリージョンコードを確認してください。(P.18)
 - 視聴年齢制限が設定されていないか確認してください。
 - ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13)
 - ディスクはラベル面を上正しくセットしてください。
 - ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。
 - 寒いところから急に暖かいところを持ってきたときなどに、レンズ部やディスクに露が付くことがあります。1～2時間放置してください。(P.12)


-
- 録画したディスクが再生できない**
- ディスクがファイナライズされていない場合、再生することができません。

-
- 映像が乱れる**
- ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.13)
 - サーチ再生中は多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。


音声言語が切り替えられない

- 複数の音声収録されていないディスクでは切り替えできません。(P.17、P.42)
-  ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替ええる場合があります。(P.41)


音声がでない

- リモコンや本体の音量レベルを確認してください。(P.41)
- 早送り / 早戻し再生中に音声は出ません。
-  ボタンで切り替えてください。(P.42)

字幕言語が切り替えられない

- 複数の字幕の入っていないディスクでは切り替えできません。(P.17、P.42)
-  ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替ええる場合があります。(P.41)

字幕がでない

- 字幕が「オフ」になっている場合は、  ボタンで切り替えてください。(P.42)

アングルを変えて見ることができない

- 複数のアングルの入っていないディスクでは切り替えできません。(P.17、P.43)
- 複数のアングルが記録されている場面でのみ切り替えできます。(P.43)

メディアプレーヤーモード

動画ファイルや音楽ファイルが再生できない

- 対応ファイル形式であっても再生できない場合はエンコードソフトを変えて試してください。なお、変換方法についてはサポート対象外になります。

その他

仕様

画面サイズ	32~150インチ
投射距離	約1.0~4.3m
明るさ	2800ルーメン
コントラスト比	500:1
最大表示解像度	800×480
対応入力信号(HDMI)	最大 1920×1080 (圧縮表示による対応)
対応ディスクフォーマット	DVD-VIDEO / DVD-VR(CPRM対応) / CD-DA / データDVD / データCD
対応ディスクタイプ	DVD-ROM / DVD±R / DVD±R DL / DVD±RW / CD-ROM / CD-R / CD-RW
ラストメモリー機能	最大1件まで記憶※設定で機能を「オン」にする必要があります
対応外部メモリー	microSDHCカード(~32GB) / USBメモリー(~32GB) ※FAT32でフォーマットされた外部メモリーのみ対応
対応ファイル	ビデオ / オーディオ / 静止画
スピーカー	2chステレオ(2W×2)
Bluetooth規格	Ver.5.0
Bluetooth対応プロファイル	A2DP / AVRCP
Bluetooth対応音声コーデック	SBC
搭載端子	USBポート×1 microSDカードスロット×1 ヘッドホン出力端子(ステレオミニ)×1 AV入力端子×1 VGA入力端子×1 HDMI入力端子×2 電源入力端子×1
電源(ACアダプタ)	入力:AC100V 50/60Hz 出力:DC12V / 4.0A
消費電力	約 45 W
光源寿命(LED)	約 2万時間
動作温度範囲	5℃~35℃
動作湿度範囲	20%~80% (結露なきこと)
動作音	約 50 dB
焦点調節	手動
台形補正	手動
外形寸法	W203×D161×H95 (mm)
本体重量	約 1.1Kg

・対応ディスクフォーマット・対応ディスクタイプ・対応外部メモリーは、すべてのディスク・外部メモリーやすべての容量に対し、再生を保証するものではありません。

・対応ファイルは、すべてのファイルの再生を保証するものではありません。

故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	テクニカルサポート
テクニカルサポートダイヤル	03-6687-4007
受付時間	10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	03-5421-2266 (24 時間受付)
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5 階
ホームページ	https://www.green-house.co.jp/

- ・ 故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」や FAX でお問い合わせください。
- ・ お問い合わせの前に、取扱説明書「トラブルシューティング」や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
- ・ テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

- ・ 本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
- ・ 本製品は、日本国外では使用できません。
- ・ 本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
- ・ 本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
- ・ This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
- ・ This product can not be used outside Japan.
- ・ We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
- ・ We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。

※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。

※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書に記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

-MEMO-

-MEMO-

サポート窓口

テクニカルサポート

受付時間 10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(土日祝日をのぞく弊社営業日)

テクニカルサポートダイヤル

03-6687-4007

FAX 03-5421-2266 (24時間受付)

故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAXでお問い合わせください。

グリーンハウスホームページ

<https://www.green-house.co.jp/>

GREEN HOUSE

株式会社グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5F

<https://www.green-house.co.jp>

Ver.1.1